

# 第72期 報告書

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで



新光電気工業株式会社

# 株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申しあげます。また、平素は当社事業運営にひとかたならぬご支援を賜わり厚く御礼申しあげます。

さて、第72期報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申しあげます。

半導体産業は、民生機器におけるデジタル化のさらなる進展、パソコンや携帯機器の高機能化、新興国を含めた市場規模の拡大などにより、今後も中長期的に成長を続けていくものと見込まれます。

一方、急速に進化する高集積化・高速化等の技術革新により、製品の世代交代が従来以上に加速化するとともに、絶えず変化する市場のニーズを低コストかつ柔軟に対応し得る開発・生産体制を構築することを要するなど、生き残りをかけた世界規模での競争が一段と激化することが予想されます。

当社は、このような産業にあって、お客様の望まれる品質・納期に対応し、適正な価格でご提供するという製造業の原点に立ち、徹底した現場主義をもって製品の開発、設計から生産、出荷にいたる「ものづくり」のすべての段階において革新をはかることに注力し、競争力の向上ならびに収益力の確保に努めてまいります。

## ■ 平成18年度の事業概況

### 携帯電話の市場拡大、デジタル家電の普及加速 DRAMの生産が拡大

当期の半導体業界は、競争激化による製品価格の低下が一層進んだものの、新興国を中心に携帯電話市場

が引き続き拡大していることに加え、薄型テレビをはじめとするデジタル家電の普及が加速したほか、パソコン関連では、新型基本ソフトの発売による需要喚起への期待を背景に、DRAMの生産が拡大するなど、市場は総じて堅調に推移いたしました。

### 生産体制を増強するとともに生産革新活動に注力 過去最高の業績を達成

このような環境下において、当社グループは、パソコンや新型ゲーム機向けのフリップチップタイプパッケージの主力生産拠点である若穂工場を増強するなど、需要動向に即した生産体制の構築に注力したほか、携帯電話向けのモジュール製品やMPU向けのヒートスプレッダーなどの増産対応をはかるとともに、全ての部門においてトヨタ生産方式に基づく生産革新活動を強力に推進し、より一層の収益力の向上に努めてまいりました。加えて、為替相場の円安基調もプラス要因となり、当期の連結決算につきましては、売上高2,058億59百万円（対前期比30.5%増）、経常利益348億87百万円（同23.7%増）、当期純利益192億25百万円（同17.7%増）となり、売上高、利益とも過去最高の業績を達成することができました。

単独決算につきましては、売上高2,001億円（対前期比30.7%増）、経常利益335億84百万円（同22.6%増）、当期純利益186億2百万円（同16.8%増）を計上いたしました。なお、当期の配当につきましては、普通配当9円に特別配当3円を加えて期末配当金を12円とし、中間配当金の6円とあわせて年間18円とさせていただきます。

## ■ 今後の見通し

### 携帯電話、デジタル家電は成長を持續 競争激化を背景とした価格低下圧力の強まり

今後の経済環境は、日本におきましては、米国をはじめとする海外経済の減速に伴う輸出の鈍化などが懸念されておりますが、企業業績の底堅さを背景として、設備投資が増勢を保つと予想され、また、雇用・所得環境の改善に伴う個人消費の拡大が期待されるなど、引き続き緩やかなペースでの景気拡大が見込まれます。また、米国経済につきましても、住宅部門の調整の影響は限定的との見方が多く、個人消費および設備投資は底堅く推移することが予測されています。しかし、一方では、昨年夏をピークに下落に転じた原油価格が今年に入って再び強含みで推移し、また、IT関連部門における在庫の積み上がりや依然解消されていないなど、景気の減速懸念を払拭することができない、楽観を許さない状況が続くことが見込まれます。

半導体業界につきましては、前期に引き続き、携帯電話需要やデジタル家電市場の拡大により、成長の持続が期待される一方で、新型基本ソフト需要等を見込むパソコン関連においては、今後の市場動向によっては調整局面も懸念され、また、企業間競争の一層の激化を背景に、製品価格の低下圧力がさらに強まることに加え、原材料価格が高止まり傾向を示すなど、市況は厳しさを増し、予断を許さない状況が続くものと思われま

### 「限りなき発展」に向け、高品質の製品を作りこむ卓越した「ものづくり」の製造現場を構築

このような環境下において、当社グループといたしましては、半導体パッケージのリーディングカンパニーとして、創業以来蓄積してきた半導体実装の要素技術をさらに深化・発展させることにより、お客様のニーズに即した新商品の開発・量産化に一層注力してまいります。また、熾烈な競争が繰り返される半導体市場にあって「限りなき発展」を果たすべく、生産革新活動をさらに強力に推し進め、高品質の製品を作りこむ卓越した「ものづくり」の製造現場を構築し、環境変化に耐えうる強固な企業体質の確立をはかってまいります。

さらに、変化の激しい経営環境において、コーポレート・ガバナンスの強化ならびに迅速かつ効率的な経営体制を構築すべく、本年4月21日付をもちまして執行役員制度を導入いたしました。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年6月



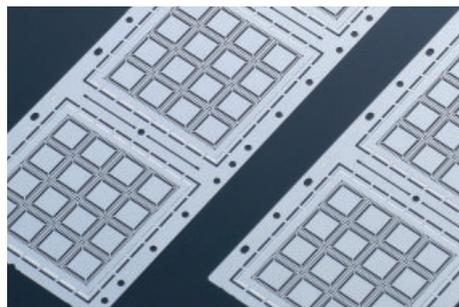
代表取締役社長

黒岩 護

# 部門別の状況

## ICリードフレーム部門

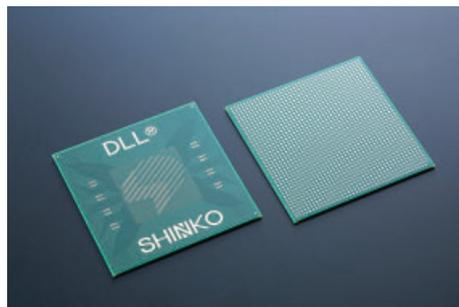
エッチングリードフレームは、QFN（クワッド・フラット・ノンリード）タイプ等、携帯電話向けの需要が底堅く推移いたしました。DRAM向けのLOC（リード・オン・チップ）タイプリードフレームは、デジタル家電向けなどへの用途の拡大はあったものの、機種転換による需要減少が進み、プレスリードフレームは競争激化の影響を受けたことにより、それぞれ売上が減少いたしました。この結果、当部門の連結売上高は253億24百万円（対前期比9.9%減）となりました。



携帯電話用途等、ICの小型化に対応して需要が高まるQFNタイプリードフレーム

## ICパッケージ部門

BOC（ボード・オン・チップ）タイプBGA（ボール・グリッド・アレイ）基板は、DRAM向けに需要が拡大したものの、競争激化に伴う価格低下の影響を受け売上は減少いたしました。主力のフリップチップタイプパッケージにつきましては、パソコン向けの売上が増加するとともに、新型ゲーム機向けなどへの用途拡大により需要が大幅に増加いたしました。また、携帯電話向けのカメラモジュール組立をはじめ、アセンブリビジネスが大きく伸張したほか、MPU向けのヒートスプレッダーおよびDSP（デジタル・シグナル・プロセッサ）用途のテープBGAにつきましても売上が増加いたしました。この結果、当部門の連結売上高は1,578億85百万円（対前期比45.4%増）となりました。



パソコンやゲーム機などの高性能化に伴い、需要が拡大するフリップチップタイプパッケージ

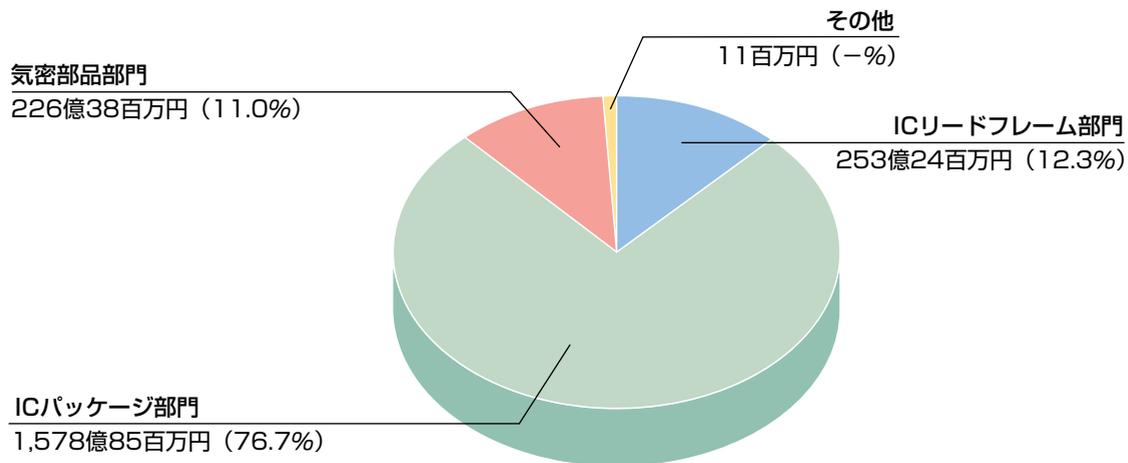
## ■ 気密部品部門

光素子用ガラス端子につきましては、期前半は堅調に推移したものの、期後半の在庫調整などにより売上が減少いたしました。一方、半導体製造装置市場の好調を背景にセラミック静電チャックが受注を伸ばしたほか、精密接触部品も堅調に推移した結果、当部門の連結売上高は226億38百万円（対前期比7.3%増）となりました。



金属をプレス加工する、ガラスと金属を溶着するといった、当社が創業以来培ってきた要素技術を進化させ現在に受け継ぐガラス端子

## 部門別売上高構成



※ ( ) 内の数字は構成比率を表わしております。

# 業績の推移

〔連結〕

## ■ 売上高



## ■ 経常利益／当期純利益

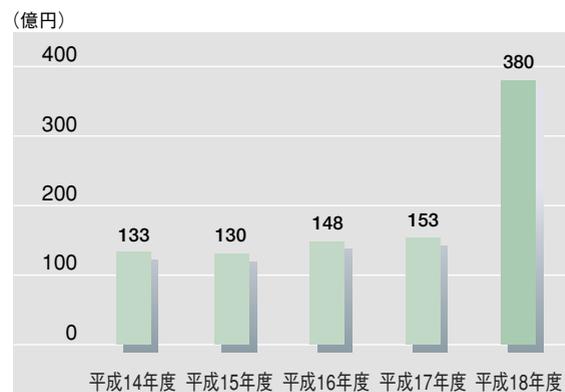


(注) 平成18年4月1日付をもって1株につき3株の割合で株式分割を実施

## ■ 総資産／純資産



## ■ 設備投資



## 〔単独〕

## ■ 売上高

(億円) ■ 国内 ■ 輸出



## ■ 経常利益/当期純利益

(百万円) ■ 経常利益 ■ 当期純利益



## ■ 営業成績および財産の状況の推移

| 区分         | 年度 | 平成14年度<br>〔第68期〕 | 平成15年度<br>〔第69期〕 | 平成16年度<br>〔第70期〕 | 平成17年度<br>〔第71期〕 | 平成18年度<br>〔第72期(当期)〕 |
|------------|----|------------------|------------------|------------------|------------------|----------------------|
| 売上高(百万円)   |    | 121,429          | 135,882          | 150,584          | 157,806          | 205,859              |
| 経常利益(百万円)  |    | 7,628            | 10,734           | 17,486           | 28,202           | 34,887               |
| 当期純利益(百万円) |    | 3,855            | 8,080            | 9,386            | 16,338           | 19,225               |
| 1株当たり当期純利益 |    | 83円50銭           | 177円70銭          | 206円80銭          | 361円13銭          | 142円32銭(注)           |
| 総資産(百万円)   |    | 141,601          | 153,056          | 158,499          | 175,541          | 198,862              |
| 純資産(百万円)   |    | 85,619           | 92,254           | 100,737          | 117,288          | 134,193              |
| 1株当たり純資産   |    | 1,906円32銭        | 2,054円25銭        | 2,243円26銭        | 2,603円29銭        | 1,000円33銭(注)         |
| 設備投資(百万円)  |    | 13,325           | 13,085           | 14,851           | 15,398           | 38,038               |
| 研究開発費(百万円) |    | 3,973            | 3,202            | 3,175            | 3,477            | 3,975                |

(注) 平成18年4月1日付をもって1株につき3株の割合で株式分割を実施

## 〔連結〕

|            |         |         |         |         |         |
|------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 売上高(百万円)   | 116,674 | 132,543 | 146,121 | 153,123 | 200,100 |
| 経常利益(百万円)  | 6,829   | 9,660   | 16,415  | 27,403  | 33,584  |
| 当期純利益(百万円) | 3,354   | 6,902   | 8,785   | 15,930  | 18,602  |

# 決算概要（連結）

## ■ 連結貸借対照表

平成19年3月31日現在

(単位：百万円)

| 科目        | 当期      | 前期      | 科目              | 当期      | 前期      |
|-----------|---------|---------|-----------------|---------|---------|
| 資産の部      | 198,862 | 175,541 | 負債の部            | 64,668  | 59,187  |
| 流動資産      | 116,832 | 110,483 | 流動負債            | 59,340  | 53,646  |
| 現金及び預金    | 20,626  | 25,216  | 買入短期借入金         | 30,576  | 23,215  |
| 受取手形及び売掛金 | 68,252  | 46,682  | 短期借入金           | 1,500   | 5,500   |
| たな卸資産     | 9,419   | 8,376   | 固定負債            | 27,263  | 24,930  |
| 預け金       | 13,620  | 25,700  | 少数株主持分          | 5,328   | 5,541   |
| その他       | 4,933   | 4,536   | 資本剰余金           |         | △ 935   |
| 貸倒引当金     | △ 19    | △ 28    | 資本剰余金           |         | 117,288 |
| 固定資産      | 82,029  | 65,057  | 利益剰余金           |         | 24,223  |
| 有形固定資産    | 75,042  | 58,035  | 利益剰余金           |         | 24,131  |
| 無形固定資産    | 1,736   | 1,750   | 利益剰余金           |         | 70,506  |
| 投資その他の資産  | 5,250   | 5,272   | その他有価証券評価差額金    |         | 409     |
| 資産合計      | 198,862 | 175,541 | 為替換算調整勘定        |         | △ 1,830 |
|           |         |         | 自己株式            |         | △ 151   |
|           |         |         | 負債、少数株主持分及び資本合計 |         | 175,541 |
|           |         |         | 純資産の部           | 134,193 |         |
|           |         |         | 株主資本            | 136,217 |         |
|           |         |         | 資本剰余金           | 24,223  |         |
|           |         |         | 資本剰余金           | 24,129  |         |
|           |         |         | 利益剰余金           | 87,955  |         |
|           |         |         | 自己株式            | △ 90    |         |
|           |         |         | 評価・換算差額等        | △ 1,081 |         |
|           |         |         | その他有価証券評価差額金    | 446     |         |
|           |         |         | 繰延ヘッジ損益         | 5       |         |
|           |         |         | 為替換算調整勘定        | △ 1,532 |         |
|           |         |         | 少数株主持分          | △ 942   |         |
|           |         |         | 負債、純資産合計        | 198,862 |         |

## ■ 連結株主資本等変動計算書

平成18年4月1日～平成19年3月31日

(単位：百万円)

| 科目                        | 株主資本   |        |        |       |         | 評価・換算差額等     |         |          |            | 少数株主持分 | 純資産合計   |
|---------------------------|--------|--------|--------|-------|---------|--------------|---------|----------|------------|--------|---------|
|                           | 資本金    | 資本剰余金  | 利益剰余金  | 自己株式  | 株主資本合計  | その他有価証券評価差額金 | 繰延ヘッジ損益 | 為替換算調整勘定 | 評価・換算差額等合計 |        |         |
| 平成18年3月31日残高              | 24,223 | 24,131 | 70,506 | △ 151 | 118,709 | 409          |         | △ 1,830  | △ 1,420    | △ 935  | 116,353 |
| 連結会計年度中の変動額               |        |        |        |       |         |              |         |          |            |        |         |
| 剰余金の配当(注)                 |        |        | △ 855  |       | △ 855   |              |         |          |            |        | △ 855   |
| 剰余金の配当                    |        |        | △ 810  |       | △ 810   |              |         |          |            |        | △ 810   |
| 役員賞与(注)                   |        |        | △ 110  |       | △ 110   |              |         |          |            |        | △ 110   |
| 当期純利益                     |        |        | 19,225 |       | 19,225  |              |         |          |            |        | 19,225  |
| 自己株式の取得                   |        |        |        | △ 1   | △ 1     |              |         |          |            |        | △ 1     |
| 自己株式の処分                   |        | △ 2    |        | 62    | 60      |              |         |          |            |        | 60      |
| 株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額) |        |        |        |       |         | 36           | 5       | 297      | 339        | △ 7    | 331     |
| 連結会計年度中の変動額合計             | 0      | △ 2    | 17,449 | 60    | 17,508  | 36           | 5       | 297      | 339        | △ 7    | 17,839  |
| 平成19年3月31日残高              | 24,223 | 24,129 | 87,955 | △ 90  | 136,217 | 446          | 5       | △ 1,532  | △ 1,081    | △ 942  | 134,193 |

(注) 平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

## Consolidated Financial Statements

### ■ 連結損益計算書

平成18年4月1日～平成19年3月31日

(単位:百万円)

| 科目           | 当期      | 前期      |
|--------------|---------|---------|
| 売上高          | 205,859 | 157,806 |
| 売上原価         | 155,708 | 116,453 |
| 売上総利益        | 50,150  | 41,352  |
| 販売費及び一般管理費   | 14,824  | 13,252  |
| 営業利益         | 35,326  | 28,100  |
| 営業外収益        | 1,483   | 1,495   |
| 営業外費用        | 1,922   | 1,393   |
| 経常利益         | 34,887  | 28,202  |
| 特別損失         | 2,226   | 1,334   |
| 税金等調整前当期純利益  | 32,660  | 26,867  |
| 法人税、住民税及び事業税 | 13,006  | 10,111  |
| 法人税等調整額      | 341     | 475     |
| 少数株主利益(損失)   | 87      | △ 57    |
| 当期純利益        | 19,225  | 16,338  |

### ■ 連結キャッシュ・フロー計算書

平成18年4月1日～平成19年3月31日

(単位:百万円)

| 科目               | 当期       | 前期       |
|------------------|----------|----------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 25,909   | 32,670   |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 37,400 | △ 15,223 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △ 5,607  | △ 11,406 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 217      | 634      |
| 現金及び現金同等物の増減額    | △ 16,881 | 6,675    |
| 現金及び現金同等物の期首残高   | 49,872   | 43,197   |
| 現金及び現金同等物の期末残高   | 32,990   | 49,872   |

## 決算概要 (単独)

## Non-consolidated Financial Statements

### ■ 貸借対照表

平成19年3月31日現在

(単位:百万円)

| 科目       | 当期      | 前期      |
|----------|---------|---------|
| 資産の部     | 195,398 | 173,043 |
| 流動資産     | 109,375 | 103,820 |
| 固定資産     | 86,023  | 69,222  |
| 資産合計     | 195,398 | 173,043 |
| 負債の部     | 62,518  | 57,090  |
| 流動負債     | 58,209  | 52,592  |
| 固定負債     | 4,308   | 4,498   |
| 資本の部     |         | 115,952 |
| 資本金      |         | 24,223  |
| 資本剰余金    |         | 24,131  |
| 利益剰余金    |         | 67,339  |
| 株式等評価差額  |         | 409     |
| 自己株式     |         | △ 151   |
| 負債、資本合計  |         | 173,043 |
| 純資産の部    | 132,880 |         |
| 株主資本     | 132,428 |         |
| 資本剰余金    | 24,223  |         |
| 利益剰余金    | 24,129  |         |
| 自己株式     | 84,166  |         |
| 評価・換算差額等 | △ 90    |         |
| 負債、純資産合計 | 195,398 |         |

### ■ 損益計算書

平成18年4月1日～平成19年3月31日

(単位:百万円)

| 科目           | 当期      | 前期      |
|--------------|---------|---------|
| 売上高          | 200,100 | 153,123 |
| 売上原価         | 150,773 | 112,563 |
| 売上総利益        | 49,327  | 40,559  |
| 販売費及び一般管理費   | 15,376  | 13,741  |
| 営業利益         | 33,950  | 26,817  |
| 営業外収益        | 1,661   | 1,934   |
| 営業外費用        | 2,026   | 1,349   |
| 経常利益         | 33,584  | 27,403  |
| 特別損失         | 2,217   | 1,334   |
| 税引前当期純利益     | 31,367  | 26,068  |
| 法人税、住民税及び事業税 | 12,455  | 9,813   |
| 法人税等調整額      | 308     | 323     |
| 当期純利益        | 18,602  | 15,930  |
| 前期繰越利益       |         | 1,800   |
| 利益準備金取崩額     |         | 911     |
| 中間配当額        |         | 584     |
| 当期末処分利益      |         | 18,058  |

## カメラモジュール組立の需要拡大



カメラモジュール

カメラ付き携帯電話市場の伸張に伴い、写真撮影機能を担うカメラモジュール（レンズと撮像センサー等が一体となったモジュール）組立の需要が高まっています。

当社では、アセンブリ事業で培った高密度実装技術に加え、光学分野の技術を吸収し、高密度なカメラモジュールの安定した生産体制の構築に注力してきました。カメラモジュールの組立には、目に見えないような細かい埃（ダスト）が大敵となるため、埃を寄せ付けない独自の生産方式を構築することで、高い歩留りを実現しています。

## ホームページをリニューアル

ホームページを全面リニューアルいたしました。今回のリニューアルでは、当社事業の紹介として、パソコンや携帯電話を例にとり、当社製品が何処にどのような機能を持って使用されているのかを、CGを用いてわかりやすく説明するなど、当社について興味を持ってご理解いただけるような情報の提供に努めておりますので、是非一度ご覧ください。

ホームページ・アドレス

<http://www.shinko.co.jp>



# 会社の概要

## Corporate Outline

(平成19年3月31日現在)

- 商号 新光電気工業株式会社
- 設立年月日 昭和21年9月12日
- 本社 長野県長野市小島田町80番地  
電話 (026) 283-1000 [代表]
- 主な事業内容 リードフレーム、プラスチック・ラミネート・パッケージ、ガラス端子、アレスタ、精密接触部品などの製造・販売、ICアセンブリ
- 従業員数 4,056名 (連結4,941名)
- 工場等 更北、若穂、高丘、新井、京ヶ瀬、新光開発センター、栗田総合センター
- 営業所等 東京、大阪、仙台、長野、名古屋、大分、福岡、フランクフルト、上海、マニラ
- 子会社 新光パーツ株式会社  
新光テクノサーブ株式会社  
SHINKO ELECTRONICS (MALAYSIA) SDN. BHD.  
韓国新光マイクロエレクトロニクス株式会社  
新光電気工業(無錫)有限公司  
SHINKO ELECTRIC AMERICA, INC.  
韓国新光商社株式会社  
台新電子股份有限公司  
SHINKO ELECTRONICS (SINGAPORE) PTE. LTD.

# 株式の状況

## Shareholders' Data

(平成19年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 540,000,000株
- 発行済株式の総数 135,171,942株
- 資本金 24,223,020,480円
- 株主数 15,969名
- 大株主

| 株主名  | 所有株式数<br>(千株) | 出資比率<br>(%) |
|--|---------------|-------------|
| 富士通株式会社                                    | 67,587        | 50.00       |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)                    | 8,372         | 6.19        |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)                  | 7,103         | 5.26        |
| 株式会社八十二銀行                                  | 1,836         | 1.36        |
| 株式会社みずほ銀行                                  | 1,836         | 1.36        |
| 住友信託銀行株式会社(信託B口)                           | 1,788         | 1.32        |
| 資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)                  | 1,458         | 1.08        |
| デクシア・ピーアイエル・プール・ジュリアス・ペアー・マルチパートナー・マルチストック | 1,377         | 1.02        |
| ゴールドマン・サックス・インターナショナル                      | 1,322         | 0.98        |
| インベスターズ・バンク・ウエスト・ベンション・ファンド・クライアソフ         | 1,285         | 0.95        |

## 取締役および監査役

(平成19年6月28日現在)

- 代表取締役社長 黒岩 護
- 取締役専務執行役員 倉石 文夫
- 取締役専務執行役員 藤本 明
- 取締役専務執行役員 柳原文 雄
- 取締役専務執行役員 村田 明彦
- 常勤監査役 横山 和司
- 監査役 村嶋 純一
- 監査役 石坂 宏一

## 執行役員

(平成19年6月28日現在)

- 常務執行役員 小川 喜彦 執行役員 清野 貴博
- 常務執行役員 今井 邦彦 執行役員 長谷部 浩
- 上席執行役員 井口 和治 執行役員 菊地 貴人
- 上席執行役員 三井 精造 執行役員 会津 治雄
- 上席執行役員 浅野 義博 執行役員 清水 満晴
- 上席執行役員 荻原 俊彦 執行役員 反町 東夫
- 執行役員 依田 稔久
- 執行役員 小平 正司

## 株式事務のご案内

### ■株式事務取扱場所および取次所

株主名簿管理人  
事務取扱場所  
(連絡先)

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081

東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)

同 取 次 所

三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

(住所の変更、配当金振込の指定・変更、単元未満株式の買取・買増請求ならびに株式の相続手続依頼に必要な各用紙のご請求につきましては、上記株主名簿管理人のフリーダイヤル0120-244-479におきましても24時間承っております。)

### ■事業年度

4月1日から翌年3月31日まで

### ■基準日

定時株主総会関係  
配当金受領株主確定日

3月31日  
3月31日および中間配当金の支払いを行う  
ときは9月30日

### ■公告方法

電子公告  
当社は、公告を下記ホームページに掲載しております。

<http://www.shinko.co.jp/ir/kk/>

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。



## 新光電気工業株式会社

〒381-2287 長野県長野市小島田町 80 番地

電話(026)283-1000〔代表〕 FAX(026)284-8861

ホームページ <http://www.shinko.co.jp>



古紙パルプ配合率100%再生紙を使用しています



地球環境に配慮した大豆油  
インキを使用しています